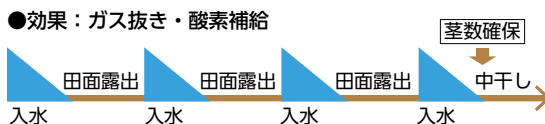


水稲(田植え後の管理)

●水管理

・苗の活着後、気温の上昇とともに土壌中の有機物が分解されガスが発生しやすくなり、発生したガスによって、根を傷め下葉から赤く枯れることがあります(赤枯れ症状)。赤枯れの発生を防止するためにも、活着後は間断かんがい(水を入れたり落したりを繰り返す)を行いましょう。

間断かんがい(イメージ)



●効果：ガス抜き・酸素補給

※有効茎数の目安 60株/坪の場合

中干しの目安

品種	有効茎数/1株	中干し時期
コシヒカリ ひとめぼれ	目安……………22本	6月中旬頃から
	目安……………22本	6月末頃まで
中生新千本	目安……………24本	7月上旬頃まで
あきろまん	目安……………21本	7月中下旬頃まで

●病害虫対策

・イネドロオイムシ・イネミスズウムシ：稲の葉をカスリ状に白くさせることがあります。ほとんどの場合は、田植え前の水稻育苗箱施用剤で対処できますが、発生が多い場合は、「なげこみトレボン」を10aあたり4〜6個(※1袋1150ml×6個入り)散布しましょう。(使用時期…5葉期以降・収穫21日前まで)

●【中干し】

・有効茎数の8割程度が確保できたら中干しを開始しましょう。
・粘質田(排水不良田)：小さい亀裂が出来る程度に繰り返しましょう。
・中干し前に溝切りを行いましょう。
・普通田(乾田)：小さいひび割れが条間に残り、足跡が残る程度に行いましょう。(ときどき走り水かん水を行いましょう。)

・いもち病：【予防的防除】葉いもち初発の10日前〜初発時に「オリゼート粒剤」を10aあたり3kg散布しましょう。(使用時期…収穫14日前まで)

●【発生時】

いもち病発生時には「ブラシオン粉剤DL」を10aあたり4kg、ただちに散布しましょう。(使用時期…収穫7日前まで)

※水稲の栽培管理について、詳しくは2026年JAひろしま三次地域水稲栽培こよみでご確認ください。

丹波黒大豆(圃場づくり)土寄せまでの管理

●圃場・土づくり・施肥

・日当たりが良く、排水良好で、畝間かん水が可能な圃場を選びましょう。
・収量の低下、病害の発生などの連作障害が発生するため、輪作し、連作を避けましょう。

	施用資材	施用量/10a
土づくり	堆肥	1~1.5t
	粒状マリンカル	100kg
基肥	大豆化成420	40kg

・圃場の周囲に明渠を掘り、排水の良い圃場を作りましょう。
・苗定植の1か月前までに土づくり資材を施用し耕うんします。基肥は定植の10日前までに施用し耕うんしましょう。

●播種・育苗

・種子は10aあたり約1.5kg必要です。
・播種時期の目安は6月10日から15日頃です。
・セルトレイは128穴を使用し、1穴1粒ずつ播種しましょう。培土はスーパーミックスAなどの育苗培土を使いましょう。
・播種の際、丹波黒大豆のヘソの向きは下向きにしましょう。上向きに播種すると、発芽率が悪くなったり、発芽揃いが悪くなったりするので注意しましょう。



セルトレイは直接地面に置かず、角材などで少し浮かせて風通しを良くするようにしましょう。

●定植

・播種後10日程度経過し、初生葉が展開した頃が定植の適期です。草丈10〜12cm程度のしっかりと根が張った苗を定植しましょう。うね幅140cm、株間60cmの間隔で1本ずつ定植します。
・セル苗にはかん水を十分行い、本圃へ移植しましょう。



・定植時期の防除として、ネキリムシ類の被害が予想される圃場では、定植後にダイアジノン粒剤5を6kg/10a、土壌表面に散布しましょう。

●土寄せ

・倒伏防止、雑草抑制、新根の発生による根量の増大、乾燥の防止等のために土寄せを行います。
・定植から10日以内に1回目の土寄せを行います。
・1回目の土寄せの10日後に追肥(PK化成を20kg/10aとLコート70を5kg/10a)を施用すると同時に、2回目の土寄せを行います。
・軸が硬くなると新根が出てくるため、土寄せは発芽後30日以内に行いましょう。

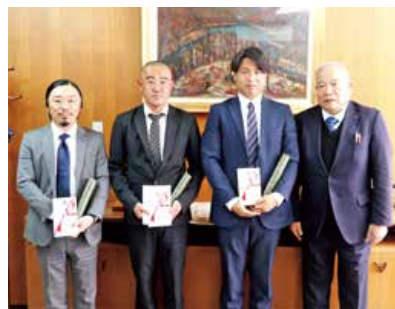
・育苗中〜生育初期は湿害に弱いので、

三 次 ト ピ ッ ク ス

地域の情報をお届け!

いぎ、新規就農 JAアグリ三次 研修修了式

JAの出資型農業法人、(株)JAアグリ三次は3月30日、三次農協会館で修了式を行い、研修生の増金真一さん、溝久純平さん、植野慎司さんがJA常務理事で同社の佐々木祥文代表取締役社長から修了証書を受け取りました。



▲佐々木社長(右)と研修生3人

研修生3人は三次市で新規就農を目指し、2024年4月から同社で研修をスタート。2年間の研修を終え、4月から同市でアスパラガス栽培農家やブドウ栽培農家として新規就農します。

研修生は「研修で学んだ事を活かし、品質の良いアスパラガスの生産と収量向上を目指す」と抱負を述べました。

同社は2016年に設立。新規就農希望者の受け入れやJA自らが中山間地域で農業所得が確保できる経営モデルを実践しています。

多収穫米契約栽培 更なる生産拡大へ

JA三次地域は生産者の所得増大に向け、「あきだわら」や「にじのきらめき」「縁結び」等の多収穫米の複数年契約栽培に力を入れています。

同JAでは平成29年から「あきだわら」を試験栽培として導入。JA全農ひろしまとの連携により、3戸の生産者で約5.3haの栽培から実需者に向けた業務用米の生産・出荷として取り組みをスタート。生産者数、栽培面積は年々増加し令和8年は58戸の生産者が約186haで栽培する計画です。

3月30日には三次農協会館で令和7年産の多収穫米優秀生産者表彰を行い、品種別の単収上位者を表彰しました。JAは今後も、大型農家や農業法人を中心に多収穫米の複数年契約栽培を拡大していく計画です。



▲受賞した生産者の皆さん

ひろしまの 魅力 集まる

フォローしてね! JAひろしま 公式 Instagram

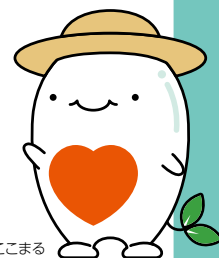
忙しい毎日にも
ちょうどいい情報

ママ・パパ
必見!

子どもも喜ぶ
簡単レシピ
配信中

旬の農産物
産直市情報
生産者の裏側も!

Follow me



◎ここまる



JAひろしま公式Instagramではイベント情報やレシピ、お役立ち情報をお届けしています! 皆さんぜひ、フォローよろしくお願いいたします♪

食と農に関するお子さまの
笑顔写真も募集中!

みんなの
フォトギャラリー
募集中!

応募
方法



採用された方には
素敵なこまるグッズをプレゼント!
皆さまの素敵なお写真をお待ちしております!

きらり女性部活動

女性の力で「あい」があふれる「地域」「暮らし」を守る 第69回 JA広島県女性部大会



▲「三次どんちゃん」を披露するJA女性部三次地区本部

3月18日、広島市のJAビルで第69回JA広島県女性部大会が開催され、県内のJA女性部員やJA役職員ら約300人が参加しました。

国連は2026年を「女性農業従事者の国際年」としており、「食」と「農」をつなぐ女性部活動が広く認知される絶好の機会となることから、協同の力を発揮し、女性の力で「あい」があふれる「地域」「暮らし」を守ることが盛り込まれた大会宣言が採択されました。

大会では記念講演や家の光記事活用体験発表、女性組織活動体験発表等が行われました。また、アトラクションでは、女性部三次地区本部が「三次どんちゃん」を披露し大会は大いに盛り上がりました。

組織の力で環境保全活動 女性部三次地区本部

JA女性部三次地区本部は、環境保全と社会貢献を目的に、ペットボトルキャップや空き缶のプルタブ、古切手の回収に取り組んでいます。回収は支部単位で行い、同JAの各支店に回収ボックスを設置する等、女性部員やJA職員、組合員・利用者から多く持ち込まれました。

3月23日には、女性部員が三次市社会福祉協議会を訪れ、回収した空き缶のプルタブ約80kg、古切手約5kgを贈呈。プルタブ、古切手は換金された後、全国の被災地支援金や福祉支援等に活用されます。また、回収したペットボトルキャップ約480kgをワクチン資金とするため三次環境クリーンセンターへ持ち込みました。



▲回収した空き缶のプルタブ、古切手を贈呈する女性部員

支部活動 清河支部



椎茸菌の種駒打ち



フラワーアレンジメント

農業情報
番組の
ご案内



（株）三次ケーブルビジョンコミュニティチャンネル

農業情報番組ガイド 11ch

放送時間 7:00~7:15・12:00~12:15・19:40~19:55

※放送内容（予定）は
変更になる場合もあ
ります。

放送日	内容	担当者
6月1日(月)~6月7日(日)	産直出荷販売情報と夏場の果菜類の栽培管理について	菊原 沖
6月15日(月)~6月21日(日)	水稲出穂期前後の栽培管理について	朝日

6月のお知らせ カレンダー

6月13日(土)
ふれあい活動

令和8年度 春期農業用資材廃棄物及び小農機具回収要項

JAひろしまでは、農家の皆様から委任を受けて、農業用廃棄物を適正に処理する取り組みをしております。
当日は委任状に印鑑が必要です。**必ず印鑑をご持参ください。**

廃棄物を運搬する際は、車両への「産業廃棄物運搬車」の表示と積載廃棄物の量・運搬先などを記入した書面の備え付けが義務付けられています。表示する書類等を各支店に準備しておりますのでご利用ください。

1. 回収日程

回収日	時間	回収場所	対象地区
6月2日(火)	午前9～12時	三次地域営農経済センター 集約倉庫前	全地区
		三次北支店	
		三次西支店	
6月3日(水)	午前9～12時	君田支店	君田地区
		布野ライスセンター 稲荷受施設	布野地区
		作木支店	作木地区
		吉舎支店旧営農経済事務所裏	吉舎地区
		三良坂支店旧営農経済事務所前	三良坂地区
		三和家畜管理所	三和地区
6月4日(木)	午後3～6時	三次地域営農経済センター 集約倉庫前	全地区

2. 回収する廃棄物の種類および回収料金(税込)

- ① 廃プラスチック(肥料袋、マルチ、**セルトレ**、ハウスビニールなど)…………… (1kg当り) 100円
 廃プラスチック(育苗箱及び野菜・花等のアンダートレー **綺麗で風化していないもの**)…………… 無料
- ② 肥料・農薬の空ダンボール(農薬の付着していないもの)…………… (1kg当り) 160円
- ③ 廃農薬
 - ㊦ **水銀含有農薬**…………… 別途見積(水銀濃度等により料金が異なるため)
 - ① 有機燐化合物(パラチオン・メチルパラチオン・メチルジメトン・E P N)・砒素・硫黄を含む農薬
 およびシマジン・チウラム剤・チオベンカルブ剤・硫酸銅・臭化メチル…………… (1kg当り) 900円
 - ㊧ クロールピクリン…………… (1個当り) 16,500円 ① 一般の農薬…………… (1kg当り) 650円
- ④ 農薬空容器(ボトル、ビン、缶、袋・農薬が付着したダンボール)…………… (1kg当り) 650円
- ⑤ 小農機具(刈払機、防除機・**金属以外の柄の付いた鎌や鍬**等)…………… (1kg当り) 300円
- ⑥ 鉄製品(草刈刃・耕運刃・スパイダーモアの刃・**鎌や鍬の金属部分**等)…………… 無料
- ⑦ 金属屑(鉄製品を除く金属を含むもの・オイル缶やスプレー缶など完全に空になったもの)
 (電柵用パイル・コード)(ハウスパイプ、イボ竹)…………… (1kg当り) 30円
- ⑧ 車輻バッテリー…………… 無料 ⑨ 農業用乾電池(獣害防止機器用電池等)…………… (1kg当り) 600円
- ⑩ リチウムイオン電池(車輻以外の農業機械バッテリー)…………… (1kg当り) 1,200円

3. 注意事項

- ① 回収料金の口座引き落としを希望される方については、貯金の「**払戻請求書**」を提出いただきます。
 「払戻請求書」は各支店金融窓口及び営農センターにありますので、事前にお受け取りいただき、口座のお届け印を押印の上、当日ご持参ください。(右上日付は記入しないでください。)
- ② 廃プラ(肥料袋、マルチ、育苗箱など)を除く廃棄物には、必ず名札を添付してください。
マルチは他の廃プラスチック類とは別に梱包してください。
 廃プラに付着している土、木片、釘等は取り除いてください。
 梱包に使用するヒモは、PPロープ等のプラスチック製品でお願いします。(梱包の目安は10～15kg)
- ③ 農薬は、粉剤、水和剤、粒剤と乳剤、液剤に分別してダンボール箱に入れ氏名を明記してください。
- ④ **品名、成分の表示が無い農薬や、農薬以外の薬品は回収できません。**
- ⑤ 農薬で袋がやぶれそうな物については、袋ごと透明なビニール袋に入れて内容物を表示してください。
- ⑥ 上記以外の農薬では、処分業者と相談の上回収、または回収不可とする場合があります。
- ⑦ 発火性のある塩素系の除草剤、クサトール、デゾレート等は回収できません。
- ⑧ 農薬の空容器は、プラスチックボトル、ビン、袋、缶に分別し、**透明なビニール袋**に入れてください。
- ⑨ **エアゾール缶等密封物は、穴を開けガスを完全に抜いてください。**
- ⑩ ハウスパイプ、イボ竹などは金属屑として回収します。(10～15kgでくってください。)
- ⑪ オイル等の可燃物が入っている物は回収できません。
- ⑫ 医薬品および空容器は回収できません。(例 動物薬の容器・注射器等)



問 三次地域営農経済センター
 購買課 TEL66-3856